

平成26年(2014年) 新春講演会並びに賀詞交歓会

総務委員会

去る平成26年1月24日(金)、仙台ガーデンパレスにて東北地質調査業協会、社団法人全国さく井協会東北支部、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部の3協会合同による恒例の新春講演会及び賀詞交歓会が開催されました。

新春講演会では、読売サッカークラブ(現東京ヴェルディ)、東北電力サッカー部(現ベガルタ仙台)でサッカー選手として活躍し、初代ベガルタ仙台の監督も歴任された鈴木武一様を講師にお迎えし、ご講演を頂きました。

ご講演では、「個の力、和の力」をテーマに、ご自身の経験に基づき、指導者の立場から人材育成についてお話を頂きました。

日本サッカー協会では、世界と戦うための戦略として全国のどの階層のクラブチームにおいても統一した育成方針を共有しており、ゲームにおいては常に変化する状況を瞬時に読み解く判断力と決断力、そして個人としてチームとして最大の力を発揮するためのコミュニケーション力が選手の資質として重要で、そのような選手が育ち活躍するような環境づくりを行うことが指導者の最も大切な役割であるとお話がありました。ご講演の内容は大変示唆に富んだものばかりで、我々企業活動においても参考になるものが多く、参加者は日頃の自身の活動と重ね合わせながら真剣に聞き入っていました。

引き続き行われた賀詞交歓会は、宮城県土木部次長の久保田裕様を御来賓としてお迎えし、近年では最多となる3協

会総勢105名が参加し大変な賑わいとなりました。



講演する鈴木講師



講演会の様子

開会に際し、3協会を代表して当協会理事長の高橋和幸氏が挨拶に立ち、「我々の業界は、震災復興や国土強靱化に関連して多忙を極めており、機材や技術者の確保に大変苦勞している。長らく減少を続けてきた国の公共投資も、2014年度当初予算では2%程度上昇するようだ。先行きには期待と不安が入り混じるが、業界の発展のためにはこれ以上入札不調が発生しないよう、人と機械の準備を整えていかなければならない。東北の発展に

.....

は我々専門企業の力が不可欠であることを強くアピールしていこう」との力強いメッセージが発せられ、続いて社団法人全国さく井協会東北支部長(当協会理事総務委員長)の大友秀夫氏による乾杯の発声で宴席が始まりました。



賀詞交換会で挨拶する高橋理事長

途中、会員企業から東北各県の地酒が何本も差し入れられ、参加者に振る舞われました。地酒が置かれたテーブルのまわりは、即席の利き酒大会の様相を呈し、多くの参加者が集まっては次々と杯を傾ける光景が見受けられました。また、酒の勢いも加わり談笑に花が咲き、大変な賑わいを見せました。

締め括りは、一般社団法人斜面防災対策技術協会東北支部副支部長(当協会理事)の早坂功氏が、「講演会、懇親会と大変盛り上がった。元気が一番だ。今年一年、元気で乗り切っていこう」と挨拶し、3協会員及びそのご家族の健康と健勝を祈念した手締めを行い、盛会のうちにお開きとなりました。